＜加藤たくま　「元」研究者から「現役」研究者へ＞

■科学技術の社会実装

中野駅周辺は今後5年間、再開発で大きく生まれ変わり、「東京の新たなエネルギーを生み出す活動拠点」となることを目指しております。しかし立派な箱モノができても、運用次第で街は衰退します。ハードのみではなく、中野でなければできないソフトを育てる必要があります。

キャッチフレーズは「小さな失敗と大きな成功ができる街NAKANO」、キーワードは「ダイバーシティマネジメント」「エリアマネジメント」「イノベーションマネジメント」として、まちづくりを進めるべきと考えております。

中野区の産業育成の一環として、科学技術が社会実装することを後押しするため、様々な社会実験ができる土壌をつくるべきと考えます。

■都市におけるドローンの飛行ルート確立

私は理想を語るだけではなく、その実践として、中野サンプラザ・中野区役所でドローンを活用した建物点検の社会実験を行いました。その様子はNHKで取り扱われ、実験の成果は「ドローン建築物安全飛行技能者コース」という資格創設の一助となりました。中野区から生まれた技術であります。新しい科学技術を社会実装させるためには社会実験が必要です。

■ネクストチャレンジ：河川空間を活用したドローン物流

都市部におけるドローン飛行の空路のさらなる拡大を目的に、ドローン飛行における様々なリスクを低減できる河川空間の活用を検討中です。都市河川におけるドローン物流の実現のため、国・自治体が検討すべき事項を取りまとめるとともに、社会実験内容を査読付き論文として取りまとめ、提出、承認され、12月の土木学会水工学講演会で発表となりました。

論文タイトル：河川空間を活用したドローン物流を実現するために必要な空間情報の検討

筆頭著者での査読付き論文提出は10年ぶりで、元・研究者が現役・研究者へと復活しました。今後も政治と科学技術を結びつけてまいります。論文は右QRリンク先にございますのでご一読下さい。

中野区議会議員｜博士（工学）

加藤たくま

みつけよう。みんなの答えを。

Find your answer together.

活動レポート Vol.15

自民党

中野区で高校生まで学び育ち、瀬戸大橋のような巨大構造物建設の夢を持ち、土木工学の道へ。
しかしバブル崩壊で希望就職先がなくなるロストジェネレーション。教授の薦めで研究者に。
大学助手、国土交通省研究所、シンクタンクを経て、2015年中野区議会議員に。

1979（昭和54）年7月3日中野区生まれ/ O型
家族：妻・長男(4歳)　父：館山市　母：山形市

【学歴】
ほぜんじ幼稚園/ 中野区立仲町小（現・桃花小）/
中野九中（現・中野中・水泳）/都立富士高（ｱﾒﾌﾄ）/
中央大・大学院（土木工学）/ 博士（工学）

【職歴】
- 中央大教育技術員（いわゆる助手、水循環研究）
- 国土交通省 国土技術政策総合研究所 研究官（国家公務員、雨雲レーダー開発・災害対策）
- 国土技術研究センター 研究員（シンクタンク、気候変動に伴う洪水・渇水対策）
- 中野区議会議員（現3期、自民党幹事長）

【社会活動等】
- あおいちゃんを救う会（10日間で1億円の募金活動）
- 公益財団法人中野区教育振興会副会長
- 南中野地区委員会広報部長
- 都立富士校アメフト部後援会長・運営連絡協議委員
- 中野区ラグビーフットボール協会会長
- 東京JC2018年度中野区委員会委員長
- 第42回わんぱく相撲中野区大会副会長
- TOKYOドローンウェイ研究会
- マニュフェスト大賞（第13・15回）ノミネート
- 中央大学理工学研究所客員研究員
- 中野区検定委員　●中野区ものしり博士取得
- 東京グレイス・ロード(ギャンブル依存症回復施設)アドバイザー

中野区の未来をよくする

政策提言

自民党の幹事長として様々な政策を提案しております！
（３期目当選後、令和5年5月以降の政策の一部）

［この半年の地域・社会活動等］
〇コロナ5類となり、フルスペックとなった各種地域イベント・祭りの運営・手伝い・参加。
〇野球肘検診、ラグビーワールドカップパブリックビューイング等スポーツイベント開催。
〇今年度より、私の母校である都立富士中高の学校運営連絡協議会の委員を拝命。
〇「さよならサンプラザ」イベントなどで中野サンプラザの歴史について講演。
〇中野区教育振興会副会長として、中野区検定10周年イベント開催および試験の拡充。
〇北朝鮮による拉致被害者家族連絡会 代表 横田拓也（めぐみさん弟）氏ご講演の聴講。etc

物価高騰対策
低所得者への給付、キャッシュレス決済でのポイント還元事業。

新・中野サンプラザ
262メートルの高さ、新たな公共財産となる展望施設の設置。

現・中野サンプラザ
3次元計測によるデジタル保存。データは「くまモン」同様フリーに。

デジタル地域通貨の導入
地域活動・地域経済の好循環。健康・地域活動ポイント制度。

歩行による健康施策
デジタル地域通貨連携、一定歩数でポイント付与による医療費削減。

地域活動ポイント制度
防災等の観点から持続可能な地域活動に若いチカラは不可欠。

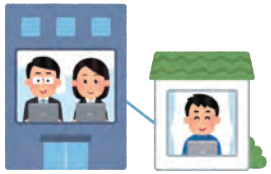
リアルタイム浸水予測システム
早大・関根教授開発のシステムを中野区において日本初の実装。

都市型農業の推進
都市ならではの朝採れ野菜の新鮮さ、低輸送コストを売りに。

中野の観光施策
江戸時代、象が中野在住中に販売の「象の三色まんじゅう」復刻。

新・中野区庁舎
令和6年5月から運用の新庁舎の区民・団体利用のルール緩和。

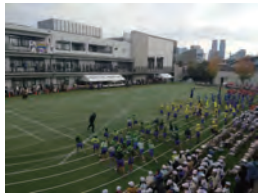
職員の働き方改革
MS365導入による生産性の向上、人事評価の刷新の提案。



区所有のビッグデータ活用
相関関係が高い事例を抽出し、医療・介護・事業費を抑制する。

コラム

地域の核となる学校建設
他区で実現している高さ制限等を撤廃した新たな設計思想。



中野区産業振興方針
エリアマネジメント等による社会実験推進、新たな産業の創出。

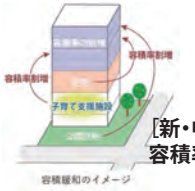
コラム

予防医療・ワクチン接種
コロナの経験を活かした予防医療の推進による医療費抑制。

ほこみち制度の推進
国交省の「歩道にカフェやベンチを設置できる」制度の推進。

コラム

容積率割増する制度活用
公開空地・公益施設・域外貢献等の設置による容積率上昇。



［新・中野サンプラザ］
容積率600⇒1000%

自転車条例の制定
自転車等の悪質な交通違反の「青切符」導入に合わせた条例制定。

学童クラブ待機児童
定員枠の拡充、児童館ランドセル来館への規制緩和。

給食費の無償化の検討
23区で広まりつつある無償化の検討と国・都への財政的要望。

GIGAスクール拡充
学校ごとに格差、ガラパゴス化が進むICT教育の是正。

中学総体陸上の国立復活
駒沢から国立競技場での開催復活、9校対抗リレー実施（実現）。

奨学金制度の創出
経済的な不安を取り除き、子どもを産みたいと思える環境整備。

コラム

財政健全化に向けた提案
中長期的な観点を踏まえた新たな財政指標の設定。

コラム

令和６年１月　発行：中野区議会自由民主党議員団　164-8501 中野区中野4-8-1　mail：mail@kato-takuma.com　HP:https://kato-takuma.com/　政策の説明：https://agora-web.jp/archives/author/takumakato